

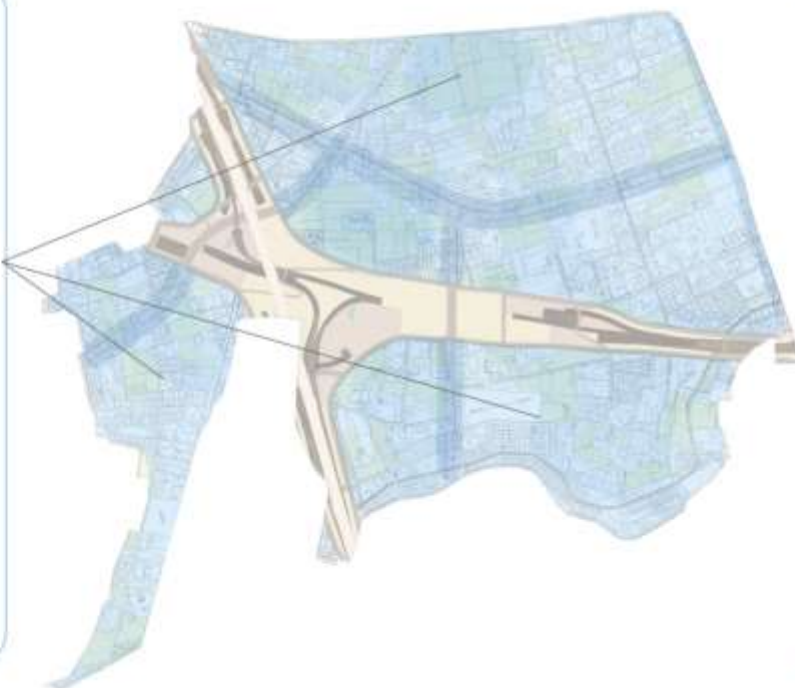
蓋かけ上部空間等の 周辺について

北野の里（仮称）のジャンクション周辺のまちづくりについて、国は「対応の方針」において「健全な市街地の整備を図り、公共の福祉の増進を図るためには、外環の整備に合わせてまちづくりを進めていくことが重要であり、まちづくりを進めるにあたっては、地域のみなさまの意見を聴きながら、市並びに関係機関と連携していく」としています。

市は引き続き、事業者等との協働により、国が実施するジャンクション整備と一体的に北野地域のまちづくりに取り組んでいきます。

農・住調和形成 ゾーン 約80ha

北野の穏やかでおおらかな住環境、それを支える農地・屋敷林・並木などの自然環境と調和し、広い空を見ることのできる景観づくりをします。また、北野の資源を生かし、みどりの連続性に配慮した安全・安心なみちづくりや、景観に配慮した土地利用計画となるよう北野らしいまちづくりをめざします。



農・住調和形成ゾーン

【コンセプト】

屋敷林や雑木林などのみどり豊かな環境を守るとともに、北野の広い空を望みながら、農と触れ合う暮らしの環境をみなさまと育むゾーンで、北野らしい景観づくりを地域のみなさまと協働ですすめます。みちづくりにおいては、みどりの連続性に配慮し、北野の景観資源を安全・安心に周遊できるようにします。

【活動のイメージ】

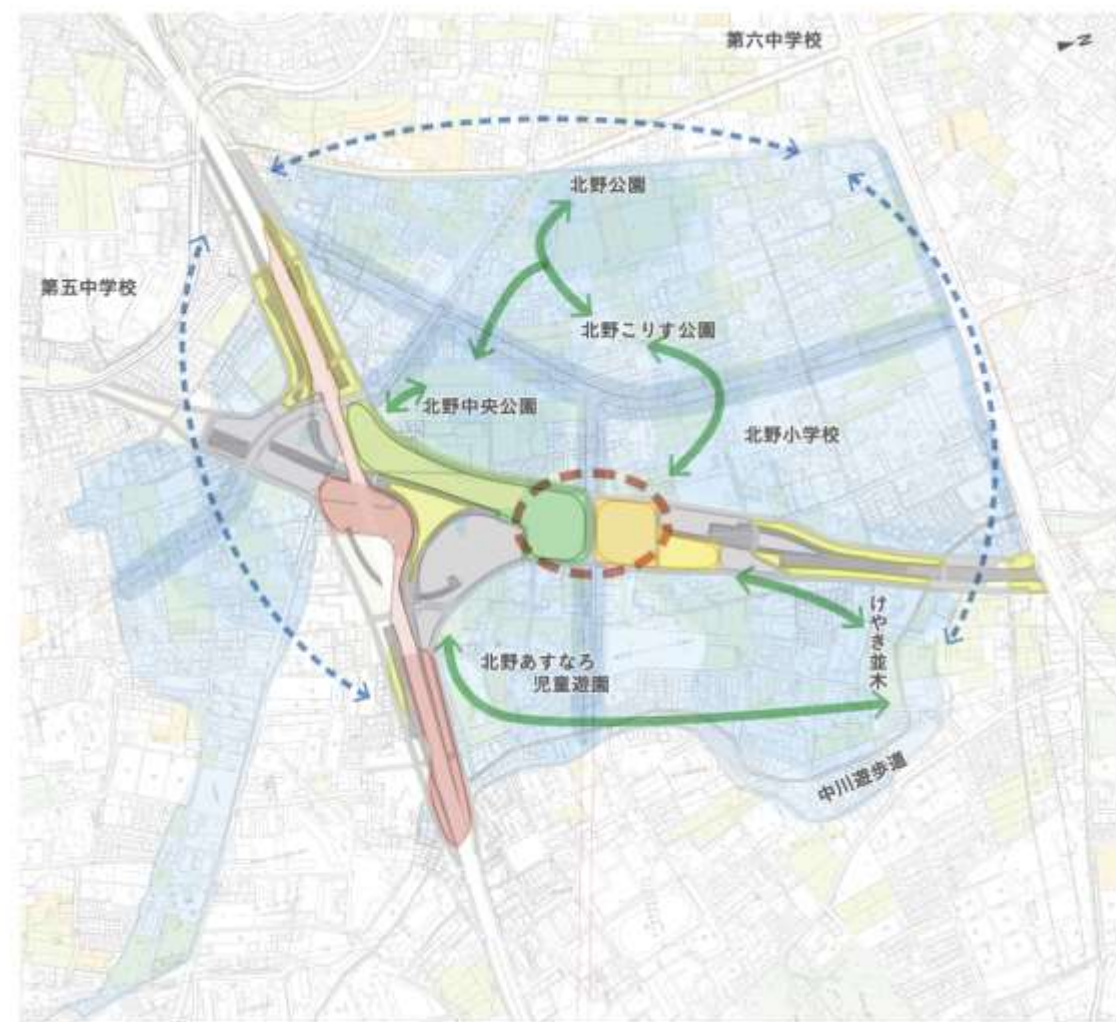
- 北野の里（仮称）においては、武蔵野の原風景である雑木林や農のある風景を望むことができます。
- 東八道路沿道などは商店などのにぎわいの景観がありながらも、里内は北野の広い空を望むことができます。
- 北野の小径を歩くと、けやき並木や公園、野菜の庭先販売所など、北野ならではの景観資源を楽しめます。
- 里内にある公園では、それぞれの公園の特色に合わせ、人々の学びや遊びなどの活動を行うことができます。



農・住調和形成ゾーン（周辺のまち並み）の活動のイメージ

※イラストはあくまでイメージで、決まったものではありません

北野の里（仮称）の回遊ルート



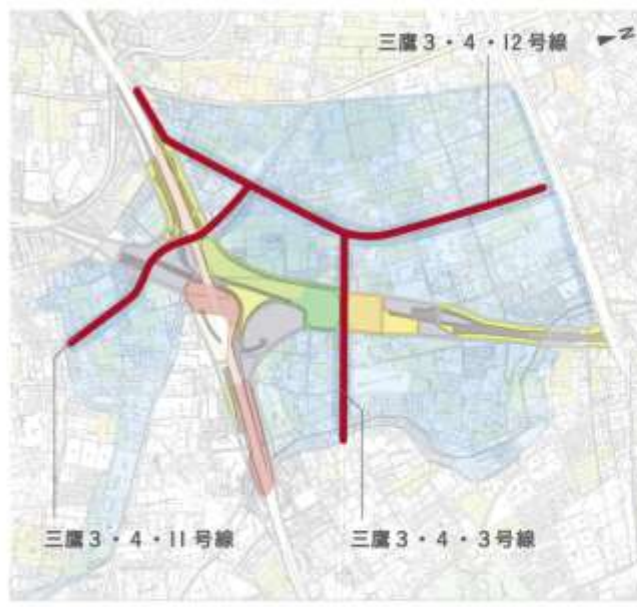
北野地域は、みどりと多くの農地が残る環境に恵まれた地域でありながら、北野町会を中心に良好なコミュニティが形成されています。その様な中、外環道路や都市計画道路等が整備されますが、蓋かけ上部空間等とその周辺の連続性を保ちつつ、みどりやコミュニティをつなぎ、活かしていく「みちづくり」が必要になります。北野の資源をつなぐ小径などを市民のみなさまと検討し、沿道の将来像を見据えた、農・みどり・コミュニティが豊かな北野らしい景観づくりを行い、良好な「まちづくり」をめざします。

凡例

- 回遊ルートの拠点
- 景観資源をつなぐ回遊ルート（小径）
- 外周の回遊ルート

※北野の里（仮称）を巡るルートについては、今後みなさまのご意見を聞きながら、決定していきます。

中央JCT（仮称）周辺に整備される都市計画道路について



中央JCT（仮称）では、周辺生活道路への通過交通の流入を極力抑えるため、「対応の方針」において、「三鷹3・4・3号線、三鷹3・4・11号線と三鷹3・4・12号線の一部区間については、外環本線の事業に合わせて整備する」としています。引き続き、中央JCT（仮称）周辺の都市計画道路の早期整備を東京都に要望していきます。

また、人見街道や連雀通りから東八道路（三鷹3・2・2号線）等へのネットワークを適切に構築していくよう東京都に要望していきます。